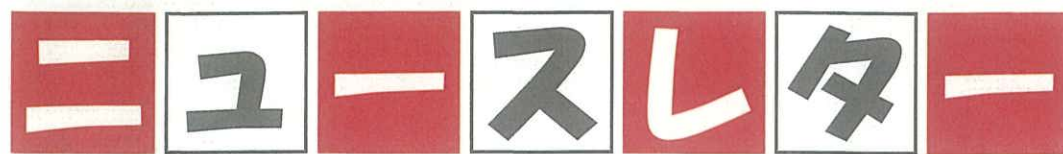


仙台市議会議員 石川けんじ



第 81 号
(改題 89 号)

会派：立憲民主党仙台 〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1 電話 022-214-8717 (直) FAX 022-711-3453

令和7年第3回定例市議会報告

R6年度の決算審査等28議案を審査

令和7年第3回定例市議会は10月8日、令和6年度の一般・特別・企業会計の決算審査を柱に計28議案の審査を行い閉会しました。

令和6年度の一般会計の歳入総額は6,249億円で、法人市民税や固定資産税、都市計画税の伸び、地方交付税の増などから対前年度比5.4%、322億円の増となりました。

歳出総額は、対前年度比5.6%、328億円増の6,167億円となりました。衛生研究所の建替に伴う施設整備費や人件費、福祉関連など義務的経費の増などがその主な要因となりました。

歳入と歳出の差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は約28億5千万円（前年より12億円余減少）の黒字となりました。

「出産育児一時金」に支援金9万円を上乗せ

今年度一般会計の補正予算では、国の新生児1人につき50万円の「出産育児一時金」に9万円を上乗せする支援金、年末年始の休日夜間診療所の体制強化、宮城交通を対象とした新たな学生フリーパス利用者増への対応経費など計8億1,500万円余が計上されました。

陸上競技場・教育センターを大規模改修

条例改正案では、七北田保育所の位置変更のための児童福祉条例の改正、高砂中央公園パークゴルフ場の使用料を定める都市公園条例の改正案等が上程されました。

工事請負契約の締結に関する件では、本庁舎整備に伴う議会映像音響設備工事費、陸上競技場及び教育センターの大規模改修工事等が計上されました。

また、市立小学校の児童及び教員の学習者用コンピュータの更新（56,638台）にかかる財産取得に関する件も提案されました。

人事案件では、教育委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦に関する件が提案されました。

《可決された主な補正予算》

○アジア太平洋防災閣僚級会議 (R9) 開催準備等	16,963
○犯罪被害者等への支援金の交付・助成見込み増加に要する経費	9,970
○終活に関する相談支援や周知広報経費	5,947
○屋内遊び場（西公園）整備に向けた埋蔵文化財調査に要する経費	6,584
○出産育児支援金（こども1人につき9万円）	247,553
○年末年始の休日夜間診療所の体制強化等	46,820
○賃上げ雇用の質的向上の両立支援パッケージ	65,500
○仙台空港国際路線の新規就航、路線維持・拡大等実施経費	40,000
○学生フリーパス制度の利用者増対応経費	376,554

(単位は千円)

《採択された意見書案》

- 「学校施設環境改善交付金の十分な財源確保を求める件」
- 「下水道管の老朽化に対するさらなる財政支援を求める件」

市議会を傍聴しましょう

第4回定例市議会予定

月	日	曜日	予定
12	2	火	本会議開会（議案提案）
	8～9	月・火	代表質疑（議案質疑）
	10～12	水～金	一般質問（市政全般）
	15	月	常任委員会
	16	火	常任委員会（予備日）
	17	水	本会議（議案採択等）閉会

※ 土日祝日は休会 開会時間はいずれも午後1時から

決算等審査特別委員会で質疑

2024年度の決算を審査する特別委員会で、「地域コミュニティへの支援拡充」（市民費）と「学校給食での食物アレルギー対応の拡充」および「児童生徒の学びの環境整備等を担う学校用務員の役割と正職員の採用再開」（教育費）を取り上げました。詳しくは、仙台市議会ホームページを参照ください。



地区集会所建設等補助金の増額に前向き（市民費）

Q、地域コミュニティ支援と集会所補助金の増額求める

地域コミュニティの中核で、より良い住民生活に欠かせない町内会等ですが、活動の停滞や解散といった現状の改善等が必要との認識に立ち、地域課題の解決や活動の活性化、担い手育成などに対する行政の支援拡充と、活動拠点となる地区集会所の利便性向上や新改築等に対する補助金の増額を求めました。

A、地域コミュニティへの支援強化と集会所建設等補助金の増額について予算確保に努めると明言

地域コミュニティは住民に欠かせないものであり、その中核を担う町内会は、行政にとっても重要なパートナーです。

指摘のとおり、安全・安心・快適なコミュニティづくりは、「住みたい街、住み続けたい街」といった地域の価値につながると受け止めています。

「町内会デジタル化推進事業（デジタル化とアドバイザー派遣による伴奏型支援事業）」を行った町内会へのフォローアップや他の町内会への周知啓発などにつなげていきます。

集会所は、住民の顔が見える関係の構築や情報共有等を図る重要な拠点であり、近年の物価上昇で地域負担が増しており、必要な予算確保に努めます。

食物アレルギー対応給食の拡充と学校用務員の正職員の採用再開を求める（教育費）

Q、増え続ける食物アレルギー児童生徒に応える対応の拡充必要

食物アレルギーを有する市立小中学校の児童生徒数は年々増え続け、R6年度は5,250人を超えており、同年度に『食物アレルギーの手引き』の第3次改訂を行い、対応の充実を図ろうとしています。

一方で、学校現場では、当事者や保護者の期待や希望に沿わない対応もあり、「食物アレルギー食の日」を設けるなどの提言を行うとともに、現状と対応給食提供の拡充を求めました。

A、「食物アレルギー食の日」はないが理解促す機会設ける

食物アレルギーを有する児童生徒数は年々増加傾向にありますが、その要因分析には至っていません。

「食物アレルギー食の日」はないが、献立の工夫や食に関する指導等で、食について考える機会を設けていきます。

保護者の意向を丁寧に伺いつつ、児童生徒の状況と照らし合わせながら、食物アレルギーの対応に当たってまいります。

今後とも、献立の工夫や職員の資質向上を図り、提供可能な体制の充実に取り組めます。

防災庁誘致や農業支援、路線バスと交通政策等で質疑 第2回定例会（6月開催）での一般質問項目

- ◇郡市政8年間の総括と仙台市の将来像
- ◇新本庁舎建設工事の見学スペース開設後の状況と積極的な広報
- ◇防災庁誘致の理由と仙台市の役割
- ◇資格確認書の交付対象者の拡充

- ◇備蓄米と本市農業の未来
- ◇物価高騰対策の拡充
- ◇まちづくりに欠かせないインフラとしての路線バス事業への支援
- ※仙台市議会ホームページをご参照ください

【質疑を終えて】

これまでの取り組みや努力に敬意と感謝をいたしますが、今回の答弁も残念ながら、願いに叶えてもらえない当事者の児童生徒やその保護者の願いに対する熱量が弱いと感じました。

給食費の無償化に動き出そうとしている中、引き続き、取り上げていこうと思います。

Q、良好な学びの環境のためにも 用務員の採用再開求める

正規の学校用務員の採用は20年以上見送られ、半数以上が60歳以上となり、高齢化と非正規化の現状にあります。

校庭や樹木等の維持管理や日常の修繕等が追いつかず、災害等への対応に不安もあり、児童生徒の学びの環境が確保されにくくなっています。

現状の改善等のため、現業職である学校用務員の正規職員の採用再開等を求めました。

A、採用再開には、慎重な対応が必要

本市では、国の議論を踏まえ、技能職員の採用を見合わせており、再任用職員の活用や会計年度任用職員の採用などに努めています。

採用には、技能職全体の働き方や人事異動、給与等の処遇に影響を与えることなどから、慎重な対応が必要と認識しています。

教育環境整備を持続可能なものとするため、他都市の対応状況、社会全体の労働力の需給状況なども勘案し、効率的かつ安定的な運営体制のあり方について検討します。

【質疑を終えて】

現業職に対する市の評価と採用に対する対応が果たして正しいのか、教育局として学校用務員の仕事の尊さを受け止めているのか、これまでの答弁が繰り返される状況を変えたいと思います。

児童生徒は、学校用務員の働く姿を見たり、時には短い言葉のやり取りが交わされるなどの交流を通じて学ぶことも少なくありません。

これからも、教育の一翼を担っている学校用務員の正規職員の採用再開を求めていきたいと思えます。

実現しました!

『食物アレルギー対応の手引2025』改訂

20年を経過した『食物アレルギー対応の手引』の第三次改訂がこの春行われました。食物アレルギーを有する児童生徒は毎年増え続け、R6年度は5250人を超えており、対応給食の提供の拡充が求められます。



『やけど注意ステッカー』掲示



強い日差しで熱せられた公園の遊具等によるやけどを防いでほしいとの保護者の要望を受け、注意喚起等を求め、市内の公園にあるすべり台1284基に『やけどにちゅうい』シールを設置しました。

イズミティ21前交差点が改良

バスや大型車両が東側から北へ右折する際に、交通標識等が障害となっているとの要望があり、センターライン



に設置してあるポールをずらすなどの改良が行われました。

泉ヶ丘団地にカーブミラーを増設

団地内のカーブでの安全確認が十分できないとの声が寄せられ、カーブミラーを増設していただきました。



活動日誌 (按粋)

3月19日 観光戦略調査特別委員会
26日 仙台市都市計画審議会
4月10日 視察・研修会(～11日)
15日 観光戦略調査特別委員会
21日 都市整備建設常任委員会
26日 仙台市新緑祭
5月15日 仙台市・富谷市広域行政協議会常任委員会
21日 都市整備建設常任委員会
23日 観光戦略調査特別委員会
6月 3日 セミナー受講(～4日)
9日 第2回定例会市議会(～24日)
7月 2日 仙台市・富谷市広域行政協議会 総会
18日 都市整備建設常任委員会
23日 観光戦略調査特別委員会
31日 仙台市公文書館視察
8月 4日 セミナー受講(～7日)
16日 視察・研修会(～19日)
21日 都市整備建設常任委員会
22日 仙台市都市計画審議会
9月 5日 第3回定例会市議会(～10/8日)

お願い

この『ニュースレター』を郵送でお届けしている方につきましては、私の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付してしまうなど、ご迷惑をおかけしていることとございます。

その際は、ご面倒でも事務所までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

また、お名前やご住所に誤字等がある方およびこの『ニュースレター』が不要の方もご連絡いただきますようお願い申し上げます。

今後の 主な予定

10月17日 セミナー受講
20日 観光戦略調査特別委員会
21日 都市整備建設常任委員会
27日 3市議会(福島・山形・仙台)研究会
31日 自転車利用環境向上会議
11月 5日 会派 他都市視察(～7日)
10日 都市整備建設常任委員会
他都市視察(～12日)
17日 仙台市都市計画審議会
21日 都市整備建設常任委員会
12月 2日 第4回定例会市議会(～17日)

◆気軽に声をかけてください。

市政について話を聞きたい、意見したいなど、お気軽にご連絡下さい。

◆市政に対する相談やご意見は 事務所までお寄せください。

〒981-3102 泉区向陽台4丁目16-11
(旧七十七銀行向陽台支店様向かい)
TEL: 022-342-1095

主な役職

- ◇都市整備建設常任委員会委員
- ◇観光戦略調査特別委員会委員
- ◇仙台市都市計画審議会委員
- ◇仙台市・富谷市広域行政協議会常任委員

あなたのご意見をお待ちしています。
市政に対するご意見をお寄せください。

FAX 022(342)1096 メール ishiken@sea.plala.or.jp

【ご意見・ご要望・ご提言】

【お名前】

【ご住所】

【TEL】 ()

【FAX】 ()

【メールアドレス】 @